

# 決算状況をお知らせします

皆さんから納めていただいた税金、保険料などは、町の一般会計・特別会計の財源の一部となり、町の行財政運営に使われました。歳入は88億2,025万円で、前年度と比較して10億9,722万円(11.1%)減少、歳出は81億6,166万円で、前年度と比較して12億5,463万円(13.3%)減少しました。この大幅な減少要因は、令和2年度に国庫支出金を財源に実施した特別定額給付金事業の減少によるものです。詳しい決算状況は次のとおりです。

$$\begin{array}{r} \text{歳入} \\ 88\text{億}2,025\text{万円} \end{array} - \begin{array}{r} \text{歳出} \\ 81\text{億}6,166\text{万円} \end{array} - \begin{array}{r} \text{翌年度繰越財源} \\ 549\text{万円} \end{array} = \begin{array}{r} \text{実質収支} \\ 6\text{億}5,310\text{万円} \end{array}$$

★実質単年度収支(繰越金や基金の出し入れを除き純粹に1年間で出入りしたお金の差)  
…3億1,208万円の黒字

町税の内訳	
固定資産税	12億3,037万円
町民税(個人)	12億618万円
町たばこ税	1億3,124万円
町民税(法人)	1億1,130万円
軽自動車税	5,532万円

■A) 町税 27億3,440万円  
住民税、固定資産税など皆さんから納めていただいたお金

■B) 繰入金 4,323万円  
基金等からの繰入金

■C) その他自主財源 10億2,184万円  
公共施設の使用料、各種証明書交付手数料や寄附金も含まれます

■D) 国県支出金 23億4,799万円  
国県から補助、負担されるお金

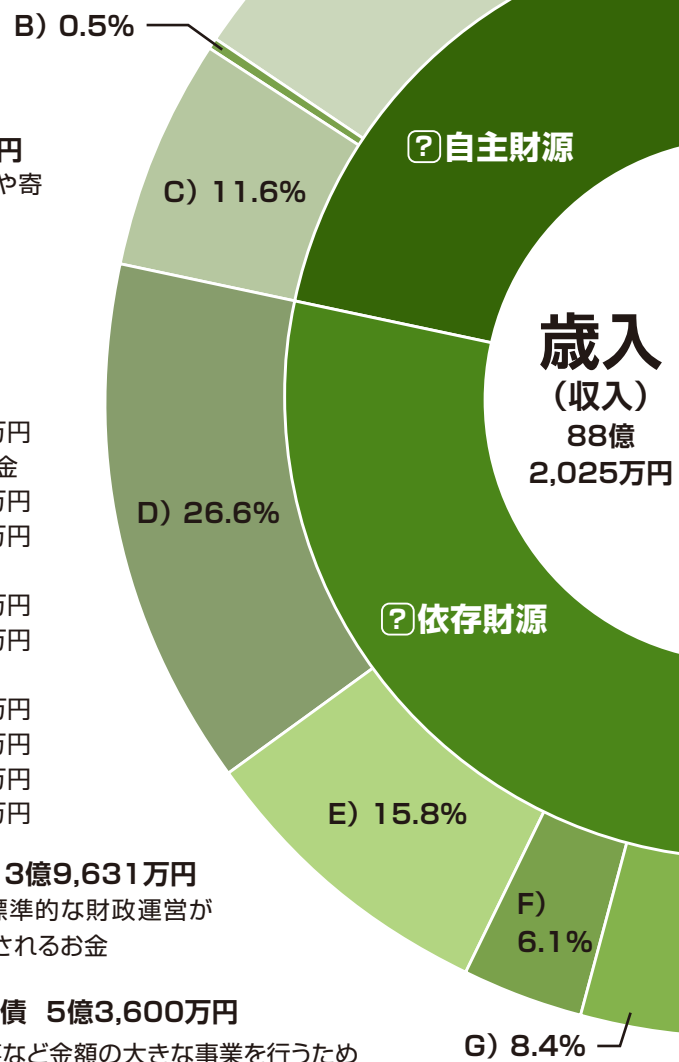
○国庫支出金  
子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金 3億3,031万円  
新型コロナウイルスワクチン接種関連補助金 2億5,788万円  
児童手当負担金 2億3,867万円  
新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金 1億9,101万円  
保育給付費負担金 1億5,974万円

○県支出金  
障害者自立支援給付費負担金 1億1,516万円  
保険基盤安定負担金 9,992万円  
保育給付費負担金 6,660万円  
重度心身障がい者医療費補助金 4,791万円

■E) 地方交付税 13億9,631万円  
町の規模に応じて、標準的な財政運営ができるよう国から交付されるお金

■F) 町債 5億3,600万円  
建設工事など金額の大きな事業を行うために借入れをしたお金

■G) その他依存財源 7億4,048万円  
国に納めた税金から一定のルールで交付されるお金



## 一般会計

②自主財源  
町が自ら基準を定め、徴収・収納できるお金(町が自立し、安定した行政活動を進めるためには自主財源の増加が望まれます)

③依存財源  
国や県の基準に基づき、交付されるお金(使い道が特定されているものが多く、自由に使うことができません)

## ■a) 民生費 32億406万円

社会福祉、障がい者福祉、福祉医療、児童手当、保育所、子育て支援などの費用

障がい者自立支援給付事業	4億6,515万円
施設型給付(保育)事業	3億4,478万円
児童手当等支給事業	3億4,365万円
子育て世帯等臨時特別支援事業	3億2,953万円
新こども館建築事業	1億9,435万円



## ■b) 衛生費 12億4,725万円

保健衛生、ごみ処理などの費用

ごみ収集・処分事業	6億6,527万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	1億9,774万円
し尿(浄化)処分事業	5,491万円



## ■c) 総務費 9億6,066万円

一般事務管理、庁舎等管理、公共施設巡回町民バス運行、徴税、戸籍住民基本台帳、町内会助成などの費用

かさまつ応援事業	1億6,323万円
公共施設巡回町民バス運行事業	6,933万円
情報化推進事業	6,792万円



## ■d) 教育費 8億3,085万円

小学校、中学校、学校給食センター、社会教育、保健体育などの費用

教育委員会運営事業	9,910万円
給食センター運営事業	9,029万円
情報教育ネットワーク事業	4,123万円



## ■e) 公債費 5億9,063万円

国や銀行からの借り入れに対する返済金



## ■f) 土木費 5億4,455万円

道路、橋梁、河川、都市計画などの費用

公園等管理事業	5,437万円
道路修繕事業	5,015万円
河川維持管理事業	1,655万円



## ■g) 消防費 3億6,670万円

消防や水防などの費用

常備消防事務事業	3億4,202万円
----------	-----------



## ■h) その他 4億1,696万円

議会、農業振興、商工業振興などの費用  
新型コロナウイルス感染症対策

事業者支援事業	3,112万円
商工業団体支援事業	1,995万円
農業用排水施設管理事業	
(土地改良事業負担金)	737万円



歳出  
(支出)  
81億  
6,166万円

a) 39.3%

b) 15.3%

c) 11.8%

d) 10.2%

e) 7.2%

f) 6.7%

g) 4.5%

h) 5.0%

# 特別会計

一般会計とは切り離して、同じ目的で行う事業をひとまとめに扱う会計です。  
笠松町には次の3つの特別会計があります。

## ■国民健康保険特別会計

歳入	21億 7,437万円	国民健康保険税 4億3,599万円 ・被保険者1人あたり約9.6万円(現年分) 他に、国・県からの交付金や一般会計からの繰入金でまかなわれています。
歳出	21億 2,901万円	療養給付費等 14億1,717万円 ・被保険者1人あたり約33万円

## ■後期高齢者医療特別会計

歳入	3億 2,637万円	後期高齢者医療保険料 2億2,989万円 ・被保険者1人あたり約7万円 他に、一般会計からの繰入金でまかなわれています。
歳出	3億 1,904万円	後期高齢者医療広域連合納付金 3億151万円 ・岐阜県後期高齢者医療広域連合が保険料の決定や医療の給付などの事務処理を行っています。

## ■介護保険特別会計

歳入	19億 6,673万円	介護保険料 4億1,340万円 ・被保険者1人あたり約7万円 他に、国・県からの交付金や一般会計からの繰入金でまかなわれています。
歳出	19億 1,989万円	介護給付費 17億2,658万円 ・介護サービス利用(保険者負担分) 他に、介護予防事業などに使うお金として支出されます。



# 基金と町債

## ■基金現在高状況 ~町の貯蓄はどのくらい?~

・財政調整基金	8億 429万円
・特定目的基金	7億7,924万円
<b>合計</b>	<b>15億8,353万円</b>

## ■町債現在高状況 ~町の借金はどのくらい?~

・一般会計債	26億1,625万円
・臨時財政対策債	41億2,559万円
<b>合計</b>	<b>67億4,184万円</b>

### ? 財政調整基金とは

財源が不足する場合や災害などの緊急事態に備えて貯めておくお金

### ? 特定目的基金とは

福祉や教育、インフラ整備など特定の目的のために使われるお金

### ? 臨時財政対策債とは

地方交付税として算定されるべき額の一部をいったん地方自治体で借りているお金で、返済金額相当分は返済する年度の地方交付税に上乗せされています。

# 財政健全化比率の公表

## ■財政健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全性は次の4つの指標で判断されます。  
4指標とも国の定める適正基準の範囲内でした。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

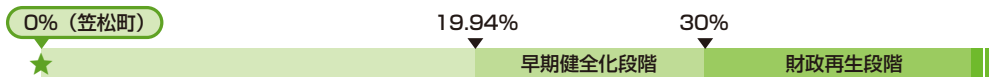
▶財政健全化比率の詳細



### ①実質赤字比率：0%



### ②連結実質赤字比率：0%



### ③実質公債費比率：5.8%



### ④将来負担比率：54.1%



## ■資金不足比率

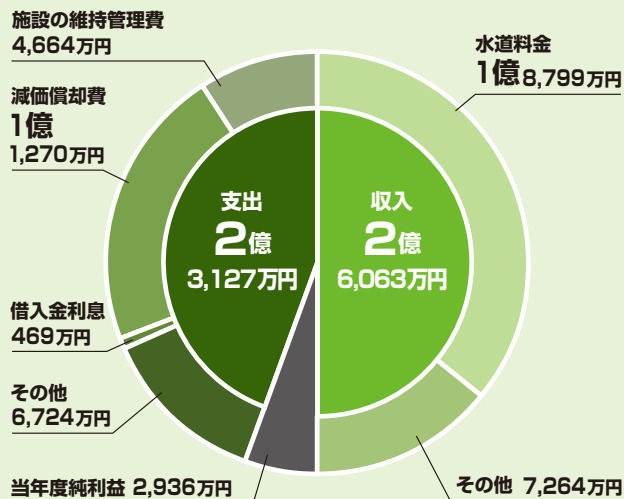
公営企業(笠松町の場合は水道事業・下水道事業が該当)の資金不足額が、事業規模に対してどの程度の割合かを表わす指標です。笠松町は両事業とも不足額が発生していないため、該当はありませんでした。



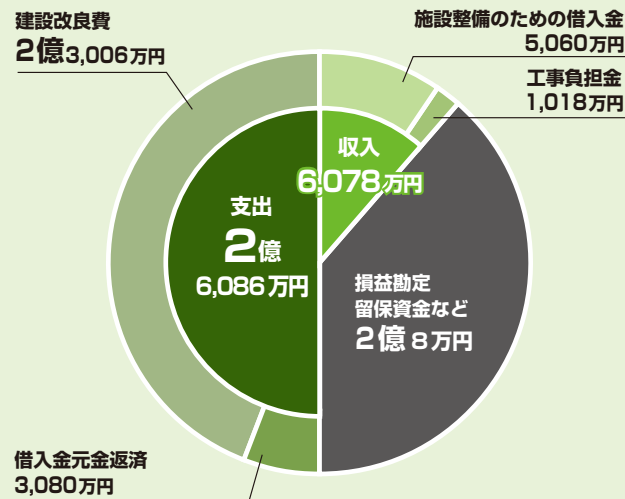


# 水道事業会計

水をお届けするための財源と費用(税抜)  
(収益的収支)

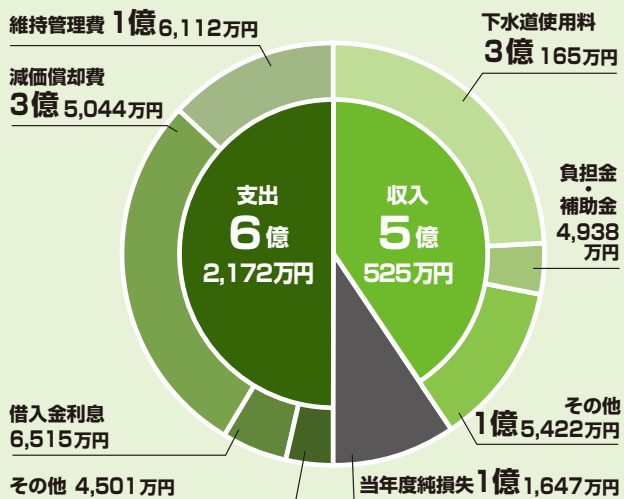


水道施設を整備するための財源と費用(税込)  
(資本的収支)

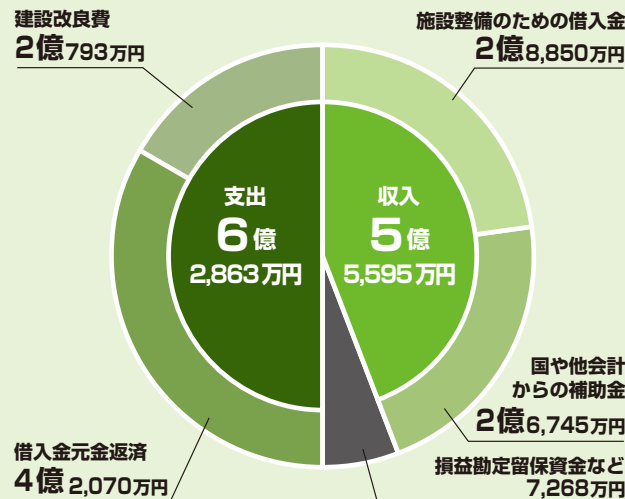


# 下水道事業会計

汚水を処理するための財源と費用(税抜)  
(収益的収支)



下水道施設を整備するための財源と費用(税込)  
(資本的収支)



ごみ・粗大ごみの回収

**(株)高島衛生**

\*笠松町許可業者  
岐南町平成6-110  
☎058-248-0089  
<http://www.t-eisei.co.jp>

HIRATA CLINIC

**ひらたクリニック**

内科・外科・肛門外科・脳神経外科  
乳腺外科 マンモグラフィ・CT完備

TEL 058-387-3378 <https://hiracl.com>